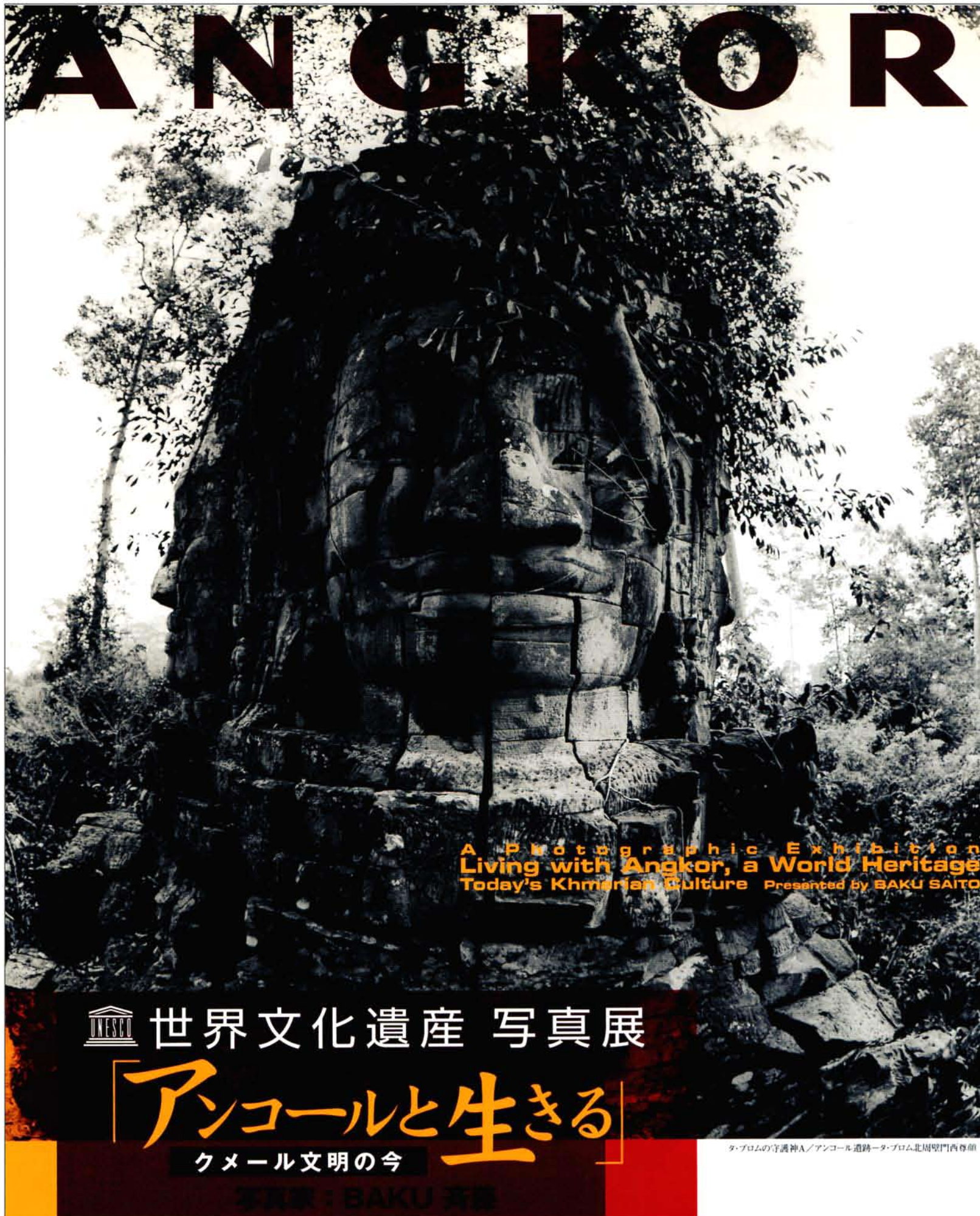


ANGKOR



A Photographic Exhibition
Living with Angkor, a World Heritage
Today's Khmer Culture Presented by BAKU SAITO

世界文化遺産 写真展
「アンコールと生きる」
クメール文明の今

写真家：BAKU 斉藤

2005.7/16 [土] → 8/14 [日]

東京都写真美術館 開館時間：10:00-18:00
恵比寿ガーデンプレイス内 地下1階 映像展示室 休館日：7月19日(火)、8月8日(月)

観覧料：一般1,000(800)円／学生800(600)円／中高生・65歳以上500(400)円()は20名以上の団体料金。小学生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。
主催：Culture Motion「APPASSIONATO」[アンコールと生きる]写真展実行委員会／東京都写真美術館／朝日新聞社 後援：外務省／東京都教育委員会／在日本国カンボジア王国大使館／UNESCO／NHK／社団法人日本ユネスコ協会連盟／財団法人文化財保護・芸術研究助成財団／社団法人日本カンボジア協会／財団法人平山郁夫シルクロード美術館 協賛：アートロイヤルリビング／コメット／小学館／新光証券／EPSON／凸版印刷／ニコソ／ニコソカメラ販売／富士フィルムイメージング 協力：大王製紙／東京築地ライオンズクラブ／日本コンピュータ・アーツ／フレームマン／NPO文化遺産保存・記録協会(社)企業メセナ協議会認定事業 M 芸術文化振興基金助成事業



スボアンに抱かれて アンコール遺跡・タ・プロム中央祠堂



共生の証A アンコール遺跡・タ・プロム中央祠堂



デスゲート アンコール遺跡・アンコール・トム東大門



火炎樹咲く頃(アンコール・ワット)



天女の舞(カンボジア古典舞踊)

精巧に作りこまれた3Dの世界
回廊が入り組んだ複雑な寺院内部を実際に歩いているかのような錯覚が起き、鳥のような視点で、空から巨大寺院全体を俯瞰し見回すことができます——最新のデジタル化技術と、BAKU斉藤の写真とのコラボレーションにより実現した、新しく、よりリアルな表現の世界を体感できます。



展示内容 **3部構成**

第1部：自然と共生する遺跡
力強い樹木と共生する遺跡の現況を究明に記録したモノクロシリーズ。
第2部：遺跡と共生する人々
僧侶、アプサラダンスの踊り子、子ども達……遺跡と共に生き生きと生活する人々をとらえた原色シリーズ。
第3部：デジタル3D映像紹介(制作／東京大学・池内研究室)
世界で唯一のモニュメント、アンコール・トムの中心寺院バイヨンに、巨大な顔面塔を3D映像で全角度から紹介。
※UNESCO世界遺産プロジェクトの紹介

関連イベントのご案内 事前申込は不要です。当日観覧券をお求めの上、ご来場ください。

【記念トークライブ】
7月25日(月) 13:00-15:30
会場：東京都写真美術館1階ホール
出演：今川幸雄(元駐カンボジア王国特命全権大使)、BAKU斉藤、平山郁夫(UNESCO親善大使)、福原義春(東京都写真美術館館長)
舞踊：世界文化遺産カンボジア古典舞踊アプサラダンス

【世界文化遺産ギャラリートーク】
親子・中高生や一般の方を対象に、BAKU斉藤をはじめ、アンコール遺跡群の修復保存やカンボジアに関わりのある専門家のみなさんによるギャラリートークを開催します。
7月20日(水)、23日(土)、24日(日)、26日(火)、8月7日(日)、11日(火)、他を予定。
各日とも11:00、14:00からの2回各1時間。

【ギャラリートツアー&出版記念サイン会】
写真家BAKU斉藤によるギャラリートツアーとサイン会を開催します。
会期中の木曜、金曜の13:00から(予定)。

オフィシャルホームページ
www.baku1.com

●お問い合わせ「アンコールと生きる」写真展実行委員会 TEL:03-3798-4071/スタジオBAKU内

東京都写真美術館
恵比寿ガーデンプレイス内
地下1階 映像展示室
東京都目黒区三田1-13-3 〒153-0062
tel.03-3280-0099 URL:<http://www.syabi.com/>



JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分
当館には専用の駐車場がありません。お車のご来館はご遠慮ください。